

日本代表選手・スタッフ等選考委員会規程

特定非営利活動法人 日本パラクレー射撃連盟

(目的)

第1条 特定非営利活動法人日本パラクレー射撃連盟（以下「本連盟」という。）に設置された日本代表選手・スタッフ等選考委員会（以下「委員会」という。）に関することを定める。

(審議・所管事項)

第2条 委員会は、本連盟定款第5条第2号に規定された障がい者のクレー射撃国際競技会のうち、パラリンピック大会およびアジアパラ競技会及びWSPS大会への代表選手及び派遣スタッフ等の選考について審議し、決定する。

2 委員会は、原則として前項の国際競技会ごとに設置するものとする。

(委員)

第3条 委員会に、次の委員を置く

委員長 1名

委員 必要数

2 委員会には、分科会を置くことができる。

3 委員会の委員長及び委員は、次の各号のいずれかに該当する者の中から選任し、理事長が委嘱する。

(1) 本連盟理事

(2) 学識経験者

(選考委員長)

第4条 委員会には選考委員長（以下「委員長」という。）を置く

2 委員長は委員の互選とする。

3 委員長は委員会を代表し委員会を招集する。最初の委員会は本連盟事務局が招集する。

4 委員長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求め、意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から開始し、本連盟理事の任期と同じく終了する

2 任期は最長1年間とする。

(委員会)

第6条 委員会は、委員長及び委員をもって構成し、委員長が招集して、議長となる。

2 委員は、電話、インターネット等の通信回線を使用して出席することができる。ただし、その場合には各出席者の音声や映像等が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっており、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な議論を行うことができる環境であることを要する。

3 委員会の議事は、委員長及び委員の合意により決定する。

第7条 理事長及び事務局長は、会議に出席して意見を述べることができる。

2 委員長が必要と認めたときは、会議に参考人の出席を求め、その意見を徴することができる。

3 前2項の場合において前条第2項の規定を準用する。

(選手等選考基準)

第8条 選手等選考基準は、代表参加者の編成方針に従い、その都度委員会が定め事前に広く開示する。

(不服申し立て)

第9条 委員会の選手・スタッフ等の選考決定に対する不服申し立てがあった場合は、不服審査委員会を設置し、その申し立てを審査しなければならない。また、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構が仲裁する範囲の不服申し立ては、スポーツ仲裁規則に従ってなされる仲裁により解決されるものとする。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附則

この規程は、2026年1月5日から施行する。